

# ごあいさつ

環境問題が企業経営の重要課題の一つとなっている今日において、富士通は、社会から喜ばれ、支持される活動とするよう環境への取り組みを一層加速しております。

富士通では、創業以来、自然と共生するものづくりを経営理念として工場の緑を育ててきました。このことがタイでの植林活動につながり、さらに経営層を含めた社員のボランティアによる熱帯林再生事業として展開しております。

このような次の世代を守る企業の意思と行動が環境への取り組みの原動力になっており、研究・開発からリサイクル・廃棄までの事業活動のあらゆる段階に活かしております。

1998年度は、製造工場においては主要な国内・海外の関係会社の環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を取得し、グループ一体となった取り組みの体制を整えました。工場廃棄物減量化対策および省エネルギー対策については、環境マネジメントシステムによる全員参加活動により目標を上回る成果を上げるとともに、将来に影響が懸念される化学物質の排出も着実に減らすことができ、その結果、環境負荷の低減に貢献しました。

また、環境対策を徹底したグリーン製品を開発し提供を始めるなど、設計段階での取り組みにも力を入れております。特にリサイクル対策については、全国網のリサイクルシステムの構築により、廃棄する製品に対する顧客サービスにつながるリサイクル技術の開発・運用を進めるとともに、グリーン製品の開発にも役立てております。

さらに、環境への企業の取り組み姿勢を示し、効果的な環境投資による環境対策のスピードアップを目指して環境会計制度を導入いたしました。このことは、環境問題を経営の一環として取り組むことを投資対効果によって具体的に示すものであり、今後環境改善を進める指標として活用を進めてまいります。

本報告書は、富士通の環境問題に対する年間の活動を実績データを主体として示すとともに、より見やすく読みやすく理解していただけるよう工夫いたしました。

今後も自主的な活動を拡大し、地球環境と人間活動の調和に一層貢献するよう取り組んでいきますので、富士通の取り組み姿勢をご理解いただく上でお役に立てれば幸いです。

富士通株式会社 代表取締役社長

秋草直之

